

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	淑徳大学
設置者名	学校法人 大乘淑徳学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
総合福祉学部	社会福祉学科	夜・通信	4		8	14	13 単位	
	教育福祉学科	夜・通信			8	14	13 単位	
	実践心理学科	夜・通信			8	14	13 単位	
コミュニティ政策学部	コミュニティ政策学科	夜・通信	2	0	12	14	13 単位	
看護栄養学部	看護学科	夜・通信			19	21	13 単位	
	栄養学科	夜・通信			15	17	13 単位	
経営学部	経営学科	夜・通信	8		6	16	13 単位	
	観光経営学科	夜・通信			8	18	13 単位	
教育学部	こども教育学科	夜・通信	2	0	31	33	13 単位	
人文学部	歴史学科	夜・通信			16	20	13 単位	
	表現学科	夜・通信	32	36	13 単位			
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.shukutoku.ac.jp/university/discloseinfo/jitsumu.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) 該当なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	淑徳大学
設置者名	学校法人 大乘淑徳学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

公表方法：学園ホームページにて公表 http:// www. hq. shukutoku. ac. jp/ 掲載ページ http://www.hq.shukutoku.ac.jp/wordpress/wp-content/themes/cocoon-child-master/document/trustee_2020.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	前私立大学教授	2017.4.1～ 2021.3.31	教育・研究
非常勤	社会福祉法人理事長	2017.4.1～ 2021.3.31	教育連携
非常勤	弁護士	2017.4.1～ 2021.3.31	コンプライアンス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	淑徳大学
設置者名	学校法人 大乘淑徳学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
≪授業計画の作成過程≫ ①シラバス作成に関するFD研修会の実施 ②所管する委員会の長より担当教員へ作成依頼→各教員にて記入要領に基づき作成 ③作成されたシラバスを記載内容の適正性確認のため第三者がチェックし、修正箇所があれば担当教員にて修正する ④教務WEBシステムにより、すべての学生・教職員および広く一般に公開される	
≪授業計画の作成・公表時期≫ 【総合福祉学部・コミュニティ政策学部・看護栄養学部】 作成時期：2月初旬 公表時期：3月中旬 【経営学部・教育学部】 作成時期：1月中旬～1月下旬 公表時期：3月下旬 【人文学部】 作成時期：12月中旬～ 公表時期：3月下旬～	
授業計画書の公表方法	https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp ※シラバス照会から参照可能
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスに記載された客観的な評価方法に基づき学習成果を判定し、規定された基準（以下に示す）により、厳格かつ適正に評価し単位を授与している。評価基準は各学生の学修成果に基づき、試験のみでなく学修への取り組み状況や事前事後学習等を評価に取り入れている。成績評価の内容は学習の目標に対する到達度の目安となっており、単位の認定は教員個人の恣意的判断で行われることはない。</p> <p>《成績評価基準》</p> <p>S：100点から90点 A：89点から80点 B：79点から70点 C：69点から60点 D：59点以下</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>《GPAの具体的な内容》</p> <p>成績評価の客観的な指標としてGPA制度を導入している。 GPAは授業ごとの成績（S・A・B・C・D）の評価それぞれに対して4・3・2・1・0のグレードポイントを付け、以下の計算式で算出した数値である。この算出方法はホームページ上で広く一般に公表している。</p> <p>◆算出方法 [（履修した科目の単位数×グレードポイント）の合計] / [履修した科目の単位数の合計]</p> <p>《適切な実施状況》</p> <p>上記GPA算出方法により、学生や保護者が自身で確認できるようにしている。また、担当教員によるフォローアップ指導対象者の基準や成績優秀者表彰および奨学金制度の選考基準として活用している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>大学ホームページで広く一般に公開 https://www.shukutoku.ac.jp/campuslife/support/gpaseido.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

《卒業の認定に関する方針の具体的内容》

各学科においてディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を制定し、大学ホームページにて広く一般に公開している。

《卒業の認定に関する方針の適切な実施状況》

卒業要件を次のように定め、卒業判定については教務委員会において審議し、議決された後に教授会へ提案し、教授会の議を経て、学部長が卒業を認定している。

◆卒業要件

<総合福祉学部>

社会福祉学科 124 単位以上（基礎教育科目 34 単位、専門教育科目 80 単位を含む）

教育福祉学科 124 単位以上（基礎教育科目 30 単位、専門教育科目 94 単位を含む）

実践心理学科 124 単位以上（基礎教育科目 34 単位、専門教育科目 80 単位を含む）

<コミュニティ政策学部>

コミュニティ政策学科 124 単位以上（基礎教育科目 30 単位、専門教育科目 94 単位を含む）

<看護栄養学部>

看護学科 124 単位以上（大学共通科目 2 単位、学部共通科目及び基礎教育科目の合計 18 単位、専門基礎科目 34 単位 看護専門科目 62 単位 看護発展科目 8 単位を含む）

栄養学科 124 単位以上（学部共通科目及び基礎教育科目の合計 34 単位 専門教育科目 90 単位を含む）

<経営学部>

経営学科 124 単位以上（基礎教育科目 34 単位、専門教育科目 82 単位を含む）

観光経営学科 124 単位以上（基礎教育科目 34 単位、専門教育科目 82 単位を含む）

<教育学部>

こども教育学科 124 単位以上（基礎教育科目 32 単位、専門教育科目 84 単位を含む）

<人文学部>

表現学科 124 単位以上（基礎教育科目 28 単位、専門教育科目 86 単位を含む）

歴史学科 124 単位以上（基礎教育科目 28 単位、専門教育科目 82 単位を含む）

卒業の認定に関する 方針の公表方法	大学ホームページで広く一般に公開 https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/policy.pdf
----------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	淑徳大学
設置者名	学校法人 大乘淑徳学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.hq.shukutoku.ac.jp/wordpress/accounting/#num_zaimu
収支計算書又は損益計算書	http://www.hq.shukutoku.ac.jp/wordpress/accounting/#num_zaimu
財産目録	http://www.hq.shukutoku.ac.jp/wordpress/accounting/#num_zaimu
事業報告書	http://www.hq.shukutoku.ac.jp/wordpress/accounting/#num_zaimu
監事による監査報告(書)	http://www.hq.shukutoku.ac.jp/wordpress/accounting/#num_zaimu

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.shukutoku.ac.jp/university/discloseinfo/nenpou/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法 https://www.shukutoku.ac.jp/university/discloseinfo/hyouka/index.html
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 総合福祉学部
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.shukutoku.ac.jp/academics/sougou/about/purpose/)
(概要) 社会福祉を支えるさまざまな学問分野における基礎的知識と技術を修得したうえで、それらを総合的に理解し、実践的に応用し活用できる能力を身につける。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/policy.pdf)
(概要) 《卒業の認定に関する方針の具体的内容》 各学科においてディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針) を制定し、大学ホームページにて広く一般に公開している。 《卒業の認定に関する方針の適切な実施状況》 卒業要件を次のように定め、卒業判定については教務委員会において審議し、議決された後に教授会へ提案し、教授会の議を経て、学部長が卒業を認定している。 ◆卒業要件 <総合福祉学部> 社会福祉学科 124 単位以上 (基礎教育科目 34 単位、専門教育科目 80 単位を含む) 教育福祉学科 124 単位以上 (基礎教育科目 30 単位、専門教育科目 94 単位を含む) 実践心理学科 124 単位以上 (基礎教育科目 34 単位、専門教育科目 80 単位を含む)
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.shukutoku.ac.jp/university/shukutoku/policy/) (公表方法 : https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/policy.pdf)
(概要) 社会福祉学科、教育福祉学科、実践心理学科では、教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー) を、教育課程の編成・教育内容、教育方法及び教育評価の 3 つの観点から定める。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : https://www.shukutoku.ac.jp/university/shukutoku/policy/) (公表方法 : https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/policy.pdf)
(概要) 社会福祉学科、教育福祉学科、実践心理学科では、入学者の受入れの方針 (アドミッション・ポリシー) を、求める学生像、入学者選抜の方法、入学前に学習しておくことが期待される学習内容及び学習態度の 3 つの観点から定める。

学部等名 コミュニティ政策学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.shukutoku.ac.jp/academics/seisaku/about/purpose/)
(概要) 地域社会におけるコミュニティ形成に関する諸課題を的確に認識し、幅広い視点からの問題分析や課題解決のための方向性を見出し、政策提言や価値創造、地域活動などの社会開発や地域開発の能力を身につける。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/policy.pdf)
(概要) <p>《卒業の認定に関する方針の具体的内容》 各学科においてディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を制定し、大学ホームページにて広く一般に公開している。</p> <p>《卒業の認定に関する方針の適切な実施状況》 卒業要件を次のように定め、卒業判定については教務委員会において審議し、議決された後に教授会へ提案し、教授会の議を経て、学部長が卒業を認定している。</p> <p>◆卒業要件 <コミュニティ政策学部> コミュニティ政策学科 124 単位以上（基礎教育科目 30 単位、専門教育科目 94 単位を含む）</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.shukutoku.ac.jp/university/shukutoku/policy/) (公表方法： https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/policy.pdf)
(概要) コミュニティ政策学科では、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を、教育課程の編成・教育内容、教育方法及び教育評価の3つの観点から定める。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.shukutoku.ac.jp/university/shukutoku/policy/) (公表方法： https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/policy.pdf)
(概要) コミュニティ政策学科では、入学者の受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を、求める学生像、入学者選抜の方法、入学前に学習しておくことが期待される学習内容及び学習態度の3つの観点から定める。

学部等名 看護栄養学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.shukutoku.ac.jp/academics/kangoeyou/about/purpose/)
(概要) 人々の健康の保持増進と病む人の生活を支えるために、看護学・栄養学分野において、専門性の高い知識・技術および豊かな対人能力を身につける。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/policy.pdf)

<p>(概要)</p> <p>《卒業の認定に関する方針の具体的内容》 各学科においてディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を制定し、大学ホームページにて広く一般に公開している。</p> <p>《卒業の認定に関する方針の適切な実施状況》 卒業要件を次のように定め、卒業判定については教務委員会において審議し、議決された後に教授会へ提案し、教授会の議を経て、学部長が卒業を認定している。</p> <p>◆卒業要件 ＜看護栄養学部＞ 看護学科 124 単位以上（大学共通科目 2 単位、学部共通科目及び基礎教育科目の合計 18 単位、専門基礎科目 34 単位 看護専門科目 62 単位 看護発展科目 8 単位を含む） 栄養学科 124 単位以上（学部共通科目及び基礎教育科目の合計 34 単位 専門教育科目 90 単位を含む）</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.shukutoku.ac.jp/university/shukutoku/policy/) (公表方法：https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/policy.pdf)</p>
<p>(概要)</p> <p>看護学科、栄養学科では、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を、教育課程の編成・教育内容、教育方法及び教育評価の3つの観点から定める。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.shukutoku.ac.jp/university/shukutoku/policy/) (公表方法：https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/policy.pdf)</p>
<p>(概要)</p> <p>看護学科、栄養学科では、入学者の受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を、求める学生像、入学者選抜の方法、入学前に学習しておくことが期待される学習内容及び学習態度の3つの観点から定める。</p>

<p>学部等名 経営学部</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.shukutoku.ac.jp/academics/keiei/about/purpose/)</p>
<p>(概要)</p> <p>企業経営や観光ビジネスに必要な専門知識と技能を座学やフィールドにおける演習・実習を通じて習得し、企業の問題を解決する能力やリーダーシップを発揮できる能力を身につける。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/policy.pdf)</p>
<p>(概要)</p> <p>《卒業の認定に関する方針の具体的内容》 各学科においてディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を制定し、大学ホームページにて広く一般に公開している。</p> <p>《卒業の認定に関する方針の適切な実施状況》 卒業要件を次のように定め、卒業判定については教務委員会において審議し、議決された後に教授会へ提案し、教授会の議を経て、学部長が卒業を認定している。</p> <p>◆卒業要件 ＜経営学部＞</p>

経営学科 124 単位以上（基礎教育科目 34 単位、専門教育科目 82 単位を含む） 観光経営学科 124 単位以上（基礎教育科目 34 単位、専門教育科目 82 単位を含む）
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.shukutoku.ac.jp/university/shukutoku/policy/) (公表方法： https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/policy.pdf)
(概要) 経営学科、観光経営学科では、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を、教育課程の編成・教育内容、教育方法及び教育評価の3つの観点から定める。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.shukutoku.ac.jp/university/shukutoku/policy/) (公表方法： https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/policy.pdf)
(概要) 経営学科、観光経営学科では、入学者の受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を、求める学生像、入学者選抜の方法、入学前に学習しておくことが期待される学習内容及び学習態度の3つの観点から定める。

学部等名 教育学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.shukutoku.ac.jp/academics/kyouiku/about/purpose/) (概要) 子どもの知・徳・体にわたるバランスの取れた成長と支援、子どもの心と身体の健やかな成長や発達と援助に必要な学校教育と児童福祉のあり方について、人間形成・人間発達・人間援助の観点から考究し、それを実践する能力を身につける。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/policy.pdf) (概要) 《卒業の認定に関する方針の具体的内容》 各学科においてディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を制定し、大学ホームページにて広く一般に公開している。 《卒業の認定に関する方針の適切な実施状況》 卒業要件を次のように定め、卒業判定については教務委員会において審議し、議決された後に教授会へ提案し、教授会の議を経て、学部長が卒業を認定している。 ◆卒業要件 <教育学部> こども教育学科 124 単位以上（基礎教育科目 32 単位、専門教育科目 84 単位を含む）
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.shukutoku.ac.jp/university/shukutoku/policy/) (公表方法： https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/policy.pdf) (概要) こども教育学科では、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を、教育課程の編成・教育内容、教育方法及び教育評価の3つの観点から定める。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.shukutoku.ac.jp/university/shukutoku/policy/) (公表方法： https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/policy.pdf)

<p>(概要)</p> <p>こども教育学科では、入学者の受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を、求める学生像、入学者選抜の方法、入学前に学習しておくことが期待される学習内容及び学習態度の3つの観点から定める。</p>

<p>学部等名 人文学部</p>
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：https://www.shukutoku.ac.jp/academics/jinbun/about/purpose/)</p>
<p>(概要)</p> <p>人類が創出した言語による表現と人類が積み重ねてきた歴史を柱とする人間の所産に関する教育研究を通じて、幅広い基礎的な研究を展開することにより、新しい知識を創造するとともに、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を身につける。</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/policy.pdf)</p>
<p>(概要)</p> <p>《卒業の認定に関する方針の具体的内容》 各学科においてディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を制定し、大学ホームページにて広く一般に公開している。</p> <p>《卒業の認定に関する方針の適切な実施状況》 卒業要件を次のように定め、卒業判定については教務委員会において審議し、議決された後に教授会へ提案し、教授会の議を経て、学部長が卒業を認定している。</p> <p>◆卒業要件 ＜人文学部＞ 表現学科 124 単位以上（基礎教育科目 28 単位、専門教育科目 86 単位を含む） 歴史学科 124 単位以上（基礎教育科目 28 単位、専門教育科目 82 単位を含む）</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.shukutoku.ac.jp/university/shukutoku/policy/) (公表方法：https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/policy.pdf)</p>
<p>(概要)</p> <p>歴史学科、表現学科では、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を、教育課程の編成・教育内容、教育方法及び教育評価の3つの観点から定める。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.shukutoku.ac.jp/university/shukutoku/policy/) (公表方法：https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/policy.pdf)</p>
<p>(概要)</p> <p>歴史学科、表現学科では、入学者の受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を、求める学生像、入学者選抜の方法、入学前に学習しておくことが期待される学習内容及び学習態度の3つの観点から定める。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：https://www.shukutoku.ac.jp/university/file/organization.pdf</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
総合福祉学部	—	30人	17人	2人	0人	0人	49人
コミュニティ政策学部	—	6人	5人	0人	2人	0人	13人
看護栄養学部	—	16人	10人	4人	9人	7人	46人
経営学部	—	11人	5人	0人	3人	0人	19人
教育学部	—	9人	3人	0人	1人	0人	13人
人文学学部	—	9人	5人	0人	1人	0人	15人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		277人					277人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://gyoseki.ccb.shukutoku.ac.jp/stuhp/KgApp					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
総合福祉学部	450人	483人	107.3%	1,800人	1,779人	98.8%	0人	0人
コミュニティ 政策学部	95人	106人	111.6%	380人	414人	108.9%	0人	0人
看護栄養学部	180人	169人	93.9%	720人	704人	97.8%	0人	0人
経営学部	200人	206人	103.0%	800人	799人	99.9%	欠員の範囲	1人
教育学部	150人	149人	99.3%	600人	451人	75.2%	0人	0人
人文学学部	145人	156人	107.6%	580人	557人	96.0%	0人	0人
合計	1,220人	1,269人	104.0%	4,880人	4,704人	96.4%	欠員の範囲	1人
(備考)								
コミュニティ政策学部	平成30年度	定員減	△30名	(入学定員	125名→95名)			
人文学部	平成30年度	定員増	45名	(入学定員	100名→145名)			
教育学部	令和2年度	定員増	50名	(入学定員	100名→150名)			

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
総合福祉学部	454 人 (100%)	11 人 (2.4%)	404 人 (89.0%)	39 人 (8.6%)
コミュニティ政策学部	112 人 (100%)	0 人 (0%)	109 人 (97.3%)	3 人 (2.7%)
看護栄養学部	197 人 (100%)	0 人 (0%)	192 人 (97.5%)	5 人 (2.5%)
経営学部	160 人 (100%)	0 人 (0%)	151 人 (94.4%)	9 人 (5.6%)
教育学部	98 人 (100%)	0 人 (0%)	94 人 (95.9%)	4 人 (4.1%)
人文学部	100 人 (100%)	0 人 (0%)	74 人 (74%)	26 人 (26%)
合計	1,121 人 (100%)	11 人 (1.0%)	1,024 人 (91.3%)	86 人 (7.7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>《授業計画の作成過程》</p> <p>①シラバス作成に関するFD研修会の実施</p> <p>②所管する委員会の長より担当教員へ作成依頼→各教員にて記入要領に基づき作成</p> <p>③作成されたシラバスを記載内容の適正性確認のため第三者がチェックし、修正箇所があれば担当教員にて修正する</p> <p>④教務WEBシステムにより、すべての学生・教職員および広く一般に公開される</p> <p>《授業計画の作成・公表時期》</p> <p>【総合福祉学部・コミュニティ政策学部・看護栄養学部】</p> <p>作成時期：2月初旬 公表時期：3月中旬</p> <p>【経営学部・教育学部】</p> <p>作成時期：1月中旬～1月下旬 公表時期：3月下旬</p> <p>【人文学部】</p> <p>作成時期：12月中旬～ 公表時期：3月下旬～</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスに記載された客観的な評価方法に基づき学習成果を判定し、規定された基準（以下に示す）により、厳格かつ適正に評価し単位を授与している。評価基準は各学生の学修成果に基づき、試験のみでなく学修への取り組み状況や事前事後学習等を評価に取り入れている。成績評価の内容は学習の目標に対する到達度の目安となっており、単位の認定は教員個人の恣意的判断で行われることはない。</p> <p>《成績評価基準》</p> <p>S：100点から90点 A：89点から80点 B：79点から70点 C：69点から60点 D：59点以下</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>《GPAの具体的な内容》</p> <p>成績評価の客観的な指標としてGPA制度を導入している。</p> <p>GPAは授業ごとの成績（S・A・B・C・D）の評価それぞれに対して4・3・2・1・0のグレードポイントを付け、以下の計算式で算出した数値である。この算出方法はホームページ上で広く一般に公表している。</p> <p>◆算出方法</p> <p>[（履修した科目の単位数×グレードポイント）の合計] / [履修した科目の単位数の合計]</p>

≪適切な実施状況≫ 上記 GPA 算出方法により、学生や保護者が自身で確認できるようにしている。また、担当教員によるフォローアップ指導対象者の基準や成績優秀者表彰および奨学金制度の選考基準として活用している。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
総合福祉学部	社会福祉学科	124 単位	有・無	単位
	教育福祉学科	124 単位	有・無	単位
	実践心理学科	124 単位	有・無	単位
コミュニティ政策学部	コミュニティ政策学科	124 単位	有・無	単位
看護栄養学部	看護学科	124 単位	有・無	単位
	栄養学科	124 単位	有・無	単位
経営学部	経営学科	124 単位	有・無	単位
	観光経営学科	124 単位	有・無	単位
教育学部	こども教育学科	124 単位	有・無	単位
人文学部	歴史学科	124 単位	有・無	単位
	表現学科	124 単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：校地・校舎等の施設その他の学生の教育研究環境
<https://www.shukutoku.ac.jp/university/discloseinfo/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
総合福祉学部	社会福祉学科	800,000 円	200,000 円	400,000 円	施設維持費
	教育福祉学科	800,000 円	200,000 円	400,000 円	施設維持費
	実践心理学科	800,000 円	200,000 円	400,000 円	施設維持費
コミュニティ政策学部	コミュニティ政策学科	800,000 円	200,000 円	400,000 円	施設維持費
看護栄養学部	看護学科	1,050,000 円	200,000 円	600,000 円	施設維持費 実験実習費 ※令和2年度入学生
		1,050,000 円	300,000 円	550,000 円	施設維持費 実験実習費 ※平成31度以前入学生
	栄養学科	800,000 円	200,000 円	550,000 円	施設維持費 実験実習費
経営学部	経営学科	800,000 円	200,000 円	400,000 円	施設維持費
	観光経営学科	800,000 円	200,000 円	400,000 円	施設維持費
教育学部	こども教育学科	800,000 円	200,000 円	400,000 円	施設維持費
人文学部	歴史学科	800,000 円	200,000 円	300,000 円	施設維持費 ※令和2年度入学生
		800,000 円	200,000 円	200,000 円	施設維持費 ※平成31度以前入学生
	表現学科	800,000 円	200,000 円	300,000 円	施設維持費 ※令和2年度入学生
		800,000 円	200,000 円	200,000 円	施設維持費 ※平成31度以前入学生

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p><奨学金> 本学では、独自の奨学金制度や、様々な支援団体の奨学金制度を利用することができる。</p> <p><病院奨学金> 本学看護学科生及び看護学科入学希望者を対象に、各病院が独自に金額や条件等を定め、病院独自の選考基準に基づき貸与する奨学金もある。多数の病院で奨学金を設けており、キャリア支援室で資料の閲覧、相談ができる。</p> <p><提携教育ローン> 提携している教育ローン（学費立替払い制度）がある。</p> <p><アドバイザー制度> 学生一人ひとりを対象に、親身になって効果的な学習指導が行えるよう、教員が一人ひとりの担当アドバイザーとなり、きめ細かく個人指導に当たる制度を取り入れている。アドバイザーはGPAや既に取得した科目単位数などの成績の状況に基づいて、履修登録や、各種資格の取得など学習を進めるにあたっての指導や相談を行う。</p> <p><若樹寮(女子寮)> 学生寮『若樹寮』では、各都道府県からの女子学生約50名が生活を共にし、学業に励んでいる。千葉キャンパスの最寄り駅でもあるJR蘇我駅より徒歩3分程の場所で、大学への通学、都心へのアクセスにも優れた位置にある。 寮室は全部屋個室で、総合福祉学部、コミュニティ政策学部、看護栄養学部の1・2年生が生活を共にしている。若樹寮の共用部には共同浴場、食堂、交流コーナー、談話コーナーが備</p>

わり、寮室には、机、椅子、ベッド、エアコン、シャワー室等が備わっている。
若樹寮は寮生によって運営され、寮生活や寮則についての取り決めを行う「寮会」が月一回行われる。

若樹寮は、セキュリティを重視した建物になっている。建物と寮室フロア内への入口には2重のセキュリティ扉が設けられ、カードキーによるオートロックシステムになっている。また、各所に防犯カメラが設置され、防犯にも最大限の配慮をしている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

○千葉キャンパス（総合福祉学部・コミュニティ政策学部）

試行錯誤の繰り返しで自己の成長を実感し、確固たる社会人基礎力をもって社会に踏み出す支援をしている。

○千葉第二キャンパス（看護栄養学部）

「学習支援」、「国家試験対策」、「就職支援」を連携させた支援体制を組み、教員とキャリア支援室職員が協働で、学生個々の特性をみながら相談・指導を行うとともに、多様な支援プログラムの企画・実施をしている。また、キャリア支援室では就職に関する求人情報や先輩の活動記録など就職活動に役立つさまざまな情報の提供やアドバイスを行う他、千葉キャンパスキャリア支援センターとの連携により支援体制の強化を図っている。

○埼玉キャンパス（経営学部・教育学部）

1～2年次に「キャリアデザイン」を必修科目として取り入れ、社会的・職業的自立に向け、将来に向けた行動計画を立てられるようにする。2～3年次は多くの学生がインターシップや各種資格支援講座など自分にあったイベントに参加し、3年次からは就職の実践力向上をめざした就職支援講座で、しっかりと準備をする。

○東京キャンパス（人文学部）

さまざまな就職支援活動を通して、トライ&エラーの繰り返しで自己の成長を実感し、確固たる社会人基礎力をもって社会に踏み出す支援をする。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

各キャンパスにおいて、学生の皆さんが楽しく快適で自分らしい学生生活を過ごすために、カウンセラーが悩みや不安などを解決するための相談やアドバイスを行っている。誰もが学生生活の中で出会う悩みや問題について、一緒に考え、解決へのお手伝いをしている。

<相談の内容例>

- ・不安がありカウンセリングを受けたい
- ・サークル活動や学生生活などについて話したい
- ・アパートでの1人暮らし、家庭での問題について相談したい
- ・友人問題について悩んでいる
- ・学費の納入についての悩みがある
- ・性格・情緒面での悩みがある
- ・人生について、将来について話し合いたい
- ・先生やカウンセラーと話してみたい
- ・学業面のことで相談したい

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.shukutoku.ac.jp/university/discloseinfo/>